

3.11 から6年「みんなのこと、忘れないよ！～あの日を語る、未来を語る」

4月22日(土)、仙台市シルバーセンター交流ホールにおいて、元中学校教師の佐藤敏郎さんを講師にお迎えして講演会を開催し、215名が参加しました。女川中学校で(当時は女川第一中学校)教師をしており、震災後俳句を作るという国語の授業を通して、生徒たちが震災や津波と向き合ったことや、中学校に入学したばかりの1年生が中心となって「1000年後の命を守る」ための取り組み(「女川いのちの石碑」作り)などをご紹介いただきました。敏郎先生は、石巻市立大川小学校で次女のみずほさん(当時6年生)を亡くした遺族でもあり、「命を守る使命」「命の大切さ」について、たくさんの写真や映像を使いながらのお話をお聞きました。また、ゲストとして佐々木奏太さん(大川小学校で教師をしていたお父さんを亡くした)にも登壇いただき、敏郎先生の問いかけにご



自分の言葉で率直に語られました。昨年後半より「語り部」を始められています。立場は違っても「第二の大川小学校は出さない」という遺族としての思いは同じです。乗り越えなくても、いっしょにいればいいということが印象に残りました。

「子どもの権利を守る写真展」 @宮城県庁1Fロビー

宮城県から「子育て支援を進める県民運動」のパネル。ユニセフからは、子どもたちの笑顔の写真(20枚)を展示しています。世界には紛争や自然災害などで、笑顔になれない子どもたちが大勢います。そのような子どもたちでも、支援があれば子ども本来の笑顔を取り戻します。世界中の子どもたちが笑顔になれるように、の願いを込めて、多くの方々に見ていただいています。展示期間:4/24~5/2



卒園式と卒業式に参列しました

3月15日、毎年参加している山元町のふじ幼稚園の卒園式に参加しました。3年前の入園式からみると相当な成長ぶりです。家庭の愛と幼稚園での先生方の愛が子どもたちを育てています。感動のひと時です。3月18日は女川小学校の卒業式に参加しました。6年前の入学式で、新1年生にランドセルなど学用品を届けました。あの時の1年生が今年、小学校を卒業しました。感動、感動!!



みやぎ生協 2016年度のユニセフ募金贈呈式

4月6日、エリアリーダー全体会の席上、贈呈式がありました。昨年度の募金額は10,323,825円でした。この中から、東ティモール指定募金に420万円、アフリカ干ばつ緊急募金に100万円、その他は一般募金として役立てられます。



3月30日、2017年度第1回理事会・評議員会をフォレスト仙台2F会議室で開催しました。2016年度の活動報告と決算、2017年度の活動計画と予算について協議いただきました。また、第12期役員改選についても皆さまにご承認いただき、引き続き、宮城県ユニセフ協会の運営にご指導ご協力をいただくことをお約束いただきました。今後とも、よろしくお願いいたします。

